

つながる☆ひろがる

# 幼保小連携通信



発行:札幌市教育委員会 幼児教育センター担当課  
令和4年11月

第2回のテーマは

## 学ぶ

10月18日と19日、区幼保小連携推進協議会でブロック研修\*を行いました。  
3年ぶりに直接会って学ぶことができました。  
今回のテーマは **幼児の育ちつつある姿を見取ろう** です。

※中学校区または小学校区をもとに編成した幼保小のグループ

### 遊びの中でどんなことを感じているのだろう？ 経験しているのだろう？

-厚別区より-



ガムテープの芯に模様をつけよう



色がくるくる回っ  
てきれい！

試しに転がしてみよう



コースを  
長くしよう

写真の中の**子どもの表情、目線の先、体の使い方や向き、手にしている道具や素材**などに注目するといかがでしょう？

幼児は大人のように思いや考えを十分に表しきれないこともあります。そんな時に**子どもを理解し、援助（指導）するための手掛かり**が上記の赤字部分であることを共有できました。

幼保の先生方が見取った姿を聞いて、遊びを見る時の視点に気が付いたという小学校の先生方がいました。

そうやって子ども  
や遊びを見るとい  
いんですね！



### そもそも園ではいつもどんな生活をしているの？

-中央区より-



子どもたちの興味・関心や園内外の環境、出来事など様々なことがきっかけで遊びが始まっています

この遊びはこの日限り？何日目の活動？

継続して遊ぶ中で、徐々に役割ができてきたり、遊びが広がったりするのですよ

小学校の子どもを見ていると、自分の経験から学習に結び付けていることが多い  
幼児期に生活経験をたくさんすることが大切だね

子どもたちが遊びたくなる、やりたくなる場の設定は大人の力にかかっているよね

小学校の先生から、園生活の流れや先生方が遊びの時間をどのように考えているのか、質問が出てきます。幼保の先生方からの解説を聞いて戸惑うこともあれば、共通点を感じて小学校とのつながりを話している様子がありました。小学校の先生方からこぼれたのはこんな言葉でした。

### 「なるほど～」 「そうかも」 「へえ…」 「おもしろい！」

幼小の学び方には  
違いがありますよね…



だけど  
幼小で育みたい力は  
同じですね

## 遊びの中でどんな力が育まれているのかな？～10の姿と照らし合わせてみよう～



### ～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿～

幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の幼稚園等の修了(卒園)時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するもの



「身近なもの(道具・素材)を使って、やりたいことを実現しようとしているね **健康な心と体**」「友達と考えたことを伝え合って遊びを楽しもうとしているね **言葉による伝え合い・協同性**」「どんな風にしたらいメージに近づくか試しているんだね **思考力の芽生え・豊かな感性と表現**」など、遊びの中にはいくつもの姿が表れていることが分かりました。

幼児期はこんな経験  
をしているのか…



表れてくる姿(育まれる  
力)は1つじゃないね!

### 各区の参加者より

思いや気付きを目を輝かせながら伝える姿、それに応える教師の関わりなどの遊びの展開は、授業づくりで大切にすべきことに通じる。

子どもが「やりたい!」と思って学習に向かえる工夫を継続して行いたい。

真剣に遊びに取り組むことが学習意欲にもつながるといった話があった。年長になると「長い話を聞くこと」にばかり力を入れがちであるため、園の教育を工夫しようと思う。

入学時に「これができていると良い」と思うことがあったが、本当に育てたいところは何かを見失いがちであると気付いた。

小学校が大切にしているのは達成目標に向けた活動(授業)。幼稚園等が大切にしているのは幼児の主体的な活動とその過程なのだと感じた。

年少・年中児はどんな生活をしているかも併せて聞くことができた。これは小学校が迎え入れた時に「ゼロからじゃダメだ」と思った。

**幼児教育施設は園によって特色が様々あるから…** というお話を聞くことがあります。

平成29年に幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂されたことで、**3歳以上の幼児教育は、どの幼児教育施設においても「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が表れるような教育・保育を行うことで整理**されました。

私立の施設が多い札幌市の実態では、園の「方針」「活動内容」はそれぞれ異なるけれど、どこも10の姿が表れるような工夫・実践を模索しているところです。**幼児教育が「知識・技能」に偏っていないか、小学校生活のための単なる準備になっていないかなどを振り返ると同時に、本当に必要となる力を共有し、小学校では幼児教育をどのように生かせるか、今後も共に学ぶことが大切です。**



ご質問、ご感想等は幼児教育センター担当課までお願いします。 TEL671-3220